

競 技 規 則

【公式用品用具の使用に関して】

1. 選手は SAJ 公式用品委員会において認定された用具・用品を使用し、用具・用品に表示される商標及び社名は SAJ 規程によるもの以外は認めません。ただし、本項の規制範囲は、開・閉会式等の公式の場所及び競技会場において点呼を受けたときからフィニッシュするまでとします。「SAJ 公式用品加入ブランド」は、SAJHP →ライブラリー →マーケティングからご確認ください。
2. プレートは市販商品の正常な使用方法に限ります。改造もしくは複数商品を複合した使用法は認めません。
3. 出場する選手が本大会で使用できるスノーボードは計 2 台までとします。
4. 選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいはルーズフィットなものとし、レーシングスーツ（ワンピースやツーピース）は認めません。
5. 前 3 項のマテリアルチェックについては、受付にて詳細を伝えます。

【ヘルメット等の着用に関して】

競技中は頭部を防護する為、すべての種目において必ずヘルメットを着用して下さい。

【ビブの着用に関して】

インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用すること。

【スタート要領に関して】

1. 選手は、各種目ともスタート地点に 10 分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答しなければなりません。
2. 選手は前者のスタート後、ただちにスタート位置につき準備を整えます。
3. 選手はスタート審判の合図によりスタートします。ただちにスタートしない場合は当該種目を棄権したものとみなします。

【フィニッシュの要領に関して】

フィニッシュはコート下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって演技終了とします。

【コートインスペクションに関して】

コートインスペクションに関する規定は、受付にて詳細をお伝えします。

【抗議に関して】

抗議は参加選手が書面を持って競技委員長に提出する。ただし急を要する場合は、当該コートの審判長に申し出

ることができる。（競技終了後 5 分以内とする。）

【その他】

その他必要がある事項は別途定め、開催要項に記載し、承認を受けることとします。

【演技の中断等に関して】

1. 演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートする。中断が長引く場合は審判長の指示に従う。
2. 選手は、係員の補助を受けることができる。
3. やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は、当該種目の得点は 0 点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

【斜面の設定に関して】

1. 競技斜面は、その条件を満たせる設定を行う。
2. 種目の規制要領は、別途提示する。

【審判員・審判方法などに関して】

競技種目の採点は公開表示による 1 ジャッジ 3 3 点満点の 3 審判 3 採用 = 9 9 点満点で評価を実施
3 人の審判団を 2 名 / 1 名のグループに分け、各々違った観点で評価を実施
OVERALL IMPRESSION（演技全体の構成、印象）を審判員 2 名 × 3 3 点 = 6 6 点
TECHNICAL（操作能力） / INTENSITY（運動能力）を審判員 1 名 × 3 3 点 = 3 3 点

【大会中の日程変更に関して】

会期中天候やその他の状況によって実施方法、コート変更する事がある。その場合は競技委員会で決定する。

【広報・掲示などに関して】

大会の成績及び変更内容は、公式掲示版に掲示する。その他、大会に関する情報は、「新潟県スキー連盟教育部スノーボード委員会公式フェイスブックページ」を活用する。

【順位の設定】

1. 競技 3 種目の合計点で決定する。
（大会は最低 1 種目で競技成立とする。）
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
2. ①フリーライディング（中斜面整地）の得点上位者とする。
3. 上記①で決定しない時は、②リズムチェンジ（中斜面整地）の得点上位者とする。
4. 上記②で決定しない時は、③リズムキープ（中斜面整地）の得点上位者とする。
5. 上記で決定しない場合は同順位とする。

【コース整備に関して】

各部門終了時毎にコース整備を実施する。